

松本市地域づくり推進交付金実績報告書（抜粋）

（申請者）島立地区町会連合会

1 交付決定額

I	金600,000円
---	-----------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 島立地区高齢者支え合い事業	
実施主体	島立地区町会連合会
実施日（期間）	通年
実施場所	地区内
事業概要	<p>島立地域包括ケアシステムの構築の一つとして、地域ケア会議を開催しながら、住み慣れた地域や家で暮らし続けることができるよう高齢者の生活支援を行った。</p> <p>1 高齢者買い物送迎車運行事業 タクシーによるオンデマンド交通 (1) 対象者 65歳以上（一人または夫婦二人暮らしで、自ら自家用車を運転できない者） (2) 運行期間 R5年4月～R6年3月（毎週木曜日） (3) 運行経路 自宅 ⇄ 大型スーパー（ツルヤなぎさ店、西友笹部店） (4) 利用料金 500円／一人（往復） (5) 運行業者 相互第一交通株式会社 (6) 運行状況 延べ91回、144人</p> <p>2 地域ケア会議の開催 福祉と健康を語る集いとして開催した。 (1) 日時 R6年2月29日 午後1時30分～午後3時30分 (2) 会場 島立公民館 (3) 講師 笹賀地区地域づくりセンター長 中原 和彦 氏 島内地区福祉ひろば 市川 由美子 氏 (4) 内容 高齢者の移動手段 (5) 参加者 63人</p>
地域づくりの成果・効果	<p>1 島立買い物乗合タクシーは、買い物弱者を支える手段として有効で利用者も拡大してきており、今後も地域の足として期待されるものです。</p> <p>2 地域ケア会議については、健康寿命を伸ばし住み慣れた地域で安心して生活を送るための一つとして、継続実施している。 今回は、高齢者の移動手段について、福祉ひろば事業、公民館事業への移動支援となる方策を考えるため、市内の先進事例について講師を招いて勉強をした。</p>

課 題	島立買い物乗合タクシーについては、ネット販売、移動販売車の参入もありますが、スーパーに出向き、多くの品物を見て買い物をすることができるメリット等を周知しながら、利用者の拡大を図りたい。 高齢者の移動手段については、令和6年度から、地区社協事業として検討を進めることとした。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	450,260円	380,000円	32,581円	37,679円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 島立地区自然体験学習事業				
実 施 主 体	～豊かな自然に恵まれた地域～ 自然体験学習			
実施日（期間）	通年			
実 施 場 所	市内一円			
事 業 概 要	小学生を中心に参加者を募集し、自然や地域の歴史、文化を学ぶとともに、自然との共生、命の大切さを育み、地域全体で子どもたちを育てようとする目的で体験学習を行った。 ・大町市宮の森自然園 自然観察 ・かまばの森で遊ぼう ・三九郎とまゆ玉づくり体験 ・島立の神社&炊き出し体験			
地域づくりの成果・効果	体験学習を通じて、自然の豊かさを五感で感じ、歴史文化、自然の美しさや大切さを学びました。また、子ども同士、保護者同士が学年を越えたコミュニケーションづくりのきっかけとなっています。			
課 題	活動を継続するためのスタッフなどの仲間づくりを進め、継続できる形を作ることが必要である。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	88,100円	70,000円	0円	18,100円

③ 事業名： 島立地域教育事業				
実 施 主 体	寺子屋 大庭未来塾（地域は一つの家族）			
実施日（期間）	通年			
実 施 場 所	地区内			
事 業 概 要	今日の社会形態（核家族、共働き、少子化等）は、便利さの反面様々な課題が見えてくる。その解決案として地域が一つの家族になり、起こりうる課題を地域が家族のように皆の力で解決していく新しい地域社会の形態づくりです。 次世代を担う子どもたちを地域の皆の力で育てようという取り組みをしま			

	<p>す。学校内だけではなく学校外での学びの大切さに注目し、地域教育という新しい学びの場（実践活動を通じて生きる力を身につける）を地域が提供しているとするものです。</p> <p>1 親子農園（通年） 稲作（田植え～脱穀）焼き芋会等</p> <p>2 サマースクール（8月1日～5日） 夏休み宿題帳他、学習会を公民館で開催 七夕飾りづくりなどのチャレンジ体験教室</p>			
地域づくりの成果・効果	<p>農業体験を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の大切さ、農業作業の大変さなどを感じることができた。 ・子どもたちは自発的に行動し、年齢を超えたコミュニケーションを図れるようになった。 ・また、保護者同士のコミュニケーションの繋がりも広がった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の輪を広げるため、地域教育のPRや組織化が必要です。 ・推進交付金等の行政の支援の継続が必要である。 			
決算額	a + b + c	財源内訳		
		a	b	c
	151,508円	150,000円	0円	1,508円

決算額（計） ①+②+③	A + B + C	財源内訳		
		A	B	C
	689,868円	600,000円	32,581円	57,287円

A : 各事業の a の合計額
B : 各事業の b の合計額
C : 各事業の c の合計額

(2) 本年度の積立実績の報告
該当なし。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I - A - D	金	0円
-----------	---	----

[参考]繰越上限額 = $I \times 2 / 10$

3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料（チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等）
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し